

独立行政法人水産総合研究センターの平成24事業年度評価結果の主要な反映状況

1. 役員人事への反映について

役員人事への反映	中期目標に定められた業務について、中期計画に沿った年度計画が順調に達成され独立行政法人評価委員会による平成24年度の総合評価がA評価であったこと及び評価委員会における指摘がなかったこと等から、評価結果による役員の交代等を行わなかった。
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 役員報酬への反映について

役員報酬への反映	中期目標に定められた業務について、中期計画に沿った年度計画が順調に達成され独立行政法人評価委員会による平成24年度の総合評価がA評価であったことを踏まえ、役員報酬の増減は行わなかった。
----------	----------------------------------------------------------------------------------------------

3. 法人の運営、予算への反映について

評価項目	24事業年度評価における主な指摘事項	平成25及び26年度の運営、予算への反映状況
職員の人事に関する計画	産学官の連携や将来の水産業を取り巻く社会環境の変化に対応可能な体制づくりが望まれる。	平成25年10月に社会連携推進室を増員し、産学官連携強化のための措置を講じた。
環境・安全管理の推進	今後の施設維持整備や研究開発計画においては、自然エネルギーを含む再生可能エネルギーの積極的利用の検討が望まれる。	平成25年度には、西海区水産研究所八重山庁舎に70kwに相当する太陽光発電装置を導入したほか、増養殖研究所志布志庁舎では取水設備の更新に際し、取水ポンプをスリム化し、エネルギー支出を抑制できるようにした。